

【学校へのBLS教育導入に関する検討委員会】

報告日：令和元年5月30日

【委員長】 名知 祥

【担当理事】 田中 秀治

【活動内容】（平成30年4月1日～平成31年3月31日迄）

1. 委員会開催日および議事内容

（開催日）	（議事内容）
平成30年4月24日	平成30年度活動計画について 関連学会等での活動や日本AED財団school部会の活動など
平成31年2月16日	日本AED財団school部会との合同会議 平成30年度活動報告と令和元年度（2019年度）の活動計画

2. 報告内容

本委員会の最終目標は「学校教育に実技実施を伴う救命教育を導入・普及する事」である。平成30年度は日本AED財団school部会と連携をしながら、本委員会は学術的な役割、school部会は実務的な役割と役割分担することで、より効果的に学校での救命教育導入の更なる促進を目指して活動を行った。

<平成30年度 主な取り組み>

- 1) 総会でパネルディスカッション「学校BLS教育関連」
 - ・各地の取り組みと必須化に向けた課題と展望をテーマ
 - ・学会員と情報共有と意見交換
- 2) 日本AED財団school部会との連携強化
 - ・委員会は学術的な役割、school部会はコンテンツやイベントなど実務的な役割
- 3) 全国学校安全教育研究会との連携継続
- 4) 心肺蘇生普及に関わる学会、教育関係者の集まる場での活動紹介と意見交換
 - ・日本救急看護学会学術集会（平成30年10月20日 和歌山）
 - ・東京都・全国学校安全教育研究大会（平成31年2月15日 東京都墨田区）
- 6) 日本AED財団school部会フォーラムを共催（平成31年2月16日 つくば市）
 - ・公開授業とシンポジウムを開催
- 7) 学校教員のサポートとなるような精神的サポート・ケアに関わる取り組み
 - ・バイスタンダーサポート特別委員会と共同で検討

【活動計画】（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

活動12年目を迎える令和元年度（2019年度）は、学習指導要領の改定を見据えた「学校での救命教育導入の更なる促進」を目標にする。そのためには

1. 教員養成課程へのBLS教育の導入促進
2. 学校内でBLS教育を実施するための教員への支援
3. 学校安全・危機管理マニュアルへのBLS導入促進

を引き続き具体的目標として、教育現場と医療側の連携方法や、教員養成課程や教員に対する授業方法の伝達について、全国国立大学教員養成課程における救命教育カリキュラムについてのアンケート調査など検討を行う。また日本AED財団school部会とは引き続き緊密に連携して活動する。

心肺蘇生普及に関わる学会や教育関係者の集まる場での活動紹介と意見交換も平成30年度と同様に引き続き行っていく。